

三次市総合教育会議(第4回)会議録

1 日 時 平成27年11月26日(木)

開会 午前9時30分

閉会 午前10時30分

2 会 場 三次市役所本館6階 601会議室

3 出席構成員

市 長 増 田 和 俊

教 育 長 松 村 智 由

教育委員 沖 田 稔

教育委員 小根森 直 子

教育委員 藤 原 博 巳

教育委員 土 井 純 子

4 出席職員等

(教育委員会)

教 育 次 長 中 宗 久 之

事務局付課長 出 口 康 子

学校教育課長 稲 倉 孝 士

文化と学びの課長 杉 原 達 也

文化と学びの課係長 廣 瀬 恭 子

(事務局)

総 務 部 長 福 永 清 三

秘書広報課長 矢 野 美 由 紀

秘書広報課係長 細 美 健

秘書広報課主事 奥 村 麻 美

(傍 聴 者) 1名

5 議事

○ 三次市教育大綱(案)について

秘書広報課長 それでは、ただ今から、「平成27年度第4回三次市総合教育会議」を開催する。

まず、はじめに、総合教育会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第6項により、原則公開となっておりますので、申し込みのあった1名に対し、傍聴を許可してよいか。

構成員一同 ー異議なしー

秘書広報課長 続いて、「三次市総合教育会議傍聴要領」第5条第3項により、傍聴席において写真等の撮影や録音をしようとするときは、許可が必要となっておりますので、希望者に対し、撮影等を許可してよいか。

構成員一同 ー異議なしー

秘書広報課長 それでは、次第の「2協議事項」に入る。これよりの会議の進行は議長である増田市長にお願いする。

増田市長 本日は、「三次市教育大綱(案)」について、まとめていきたいと思うので、委員の皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。まずは、事務局から説明をお願いする。

秘書広報課長 まず、第3回総合教育会議以降の経過についてご報告させていただきます。10月28日の第3回総合教育会議で委員の皆さんにいただいたご意見を基に大綱(案)の一部を修正し、その後、11月9日に開催した有識者会議(意見聴取)でいただいたご意見を基にさらに修正を加えた。

有識者会議の参加者については、資料3の有識者名簿のとおり12名である。市長部局の関係団体8団体、教育委員会の関係団体4団体の計12団体より、役職不問で1名ずつ選

出いただいた。有識者会議ののち11月24日には、議会の全員協議会で教育大綱（案）の説明を行った。

有識者会議と議会の全員協議会で出たご意見等については、資料4のとおりである。

—資料4を読み上げにて説明—

続いて、三次市教育大綱（案）の修正箇所について、細美係長より説明を行う。

秘書広報課係長 主な修正箇所については資料2のとおりである。

—資料2により、赤字の修正箇所について説明—

秘書広報課長 続いて、今後のスケジュールについて説明を行う。

本日、教育大綱（案）について、了承をいただいた場合、事務手続き上、市長決裁で、三次市教育大綱を決定する。また、12月の広報みよし及びホームページに、教育委員会制度の改正と教育大綱の策定について掲載し、市民への周知を行う。

増田市長 基本的に、「三次市教育大綱」は、「第2次三次市総合計画」と「みよし教育ビジョン」の2つを基本とし、第1回総合教育会議でお話しした市長としての8つの思いも盛り込まれている。他の自治体の大綱については、骨子だけで留めているものがあることも承知しているが、本市の大綱には、具体的なアクションプランを可能な限り、盛り込ませていただいた。

本日は、修正を加えた三次市教育大綱（案）について、提案するので皆さんの思いを聞かせていただきたい。

沖田委員 1ページの4段落目にある「明日を担う子どもたちが生きる力を確実に身に付け…」にあるように、これからの三次教育について、「オールみよし」でやっていくということや、一人ひとりの個性を豊かに伸ばしていくということがこの大綱に謳われたということには、軽い興奮さえ覚える。オール三次を構成する学校・家庭・地域・産業界が持つ力が如何なく発

揮され、子どもという何物にも代えがたい宝が磨き上げられていくことこそが教育の理想であり、夢でもある。また、地方創生の基盤作りそのものでもあると思う。さらに、長岡藩における米百俵の精神にも通じる市長の熱意や心意気が伺えるものであるので、このことに元気を得て、これからも教育づくりに関わってみたいという気持ちになる。

しかし、気になる点が3点ある。1点目は、4ページの小中一貫教育に関する記載について、三次における小中一貫は、縦の一貫に加え、横の一貫を含んでいるという独自性がある。具体的には、縦の一貫により、より確かな学力を子どもたちに培い、横の一貫により、子どもの成長に向けた強力な支援体制を組んでいくということである。こういった支援体制の構築を横糸として、小中の連携を縦糸として子どもを確実に育てていこうという強い思いが含まれた小中一貫教育であるので、記述の中で表現してほしい。さらに、オール三次の体制づくりを進めていくのなら、学校・家庭・地域における横の一貫というのは、その母体と成り得るものであると考えるので、その観点から表現を膨らませてほしい。

2点目は、1ページの4段落目「…学校・家庭・地域など「オール三次」…」の一文について、これは5ページ3行目「学校・家庭・地域・企業・団体など「オール三次」…」というところで補完をしているが、大きな項目であるこの箇所でもオールみよしを謳うには、この3つだけではインパクトは弱いと思う。例えば、「…学校・家庭・地域はもちろん、産業界・経済界を含めた「オール三次」…」という表現をする等もう少し表現を膨らませてほしい。

3点目は、1ページの4段落目の最後の文が「…三次教育を推進する…」となっているが、新たに作り出していくという意味で「推進」ではなく「創造」に変更した方が良いと思

う。

増田市長 他に何かご意見はあるか。

藤原委員 今後の日程についての説明で、大綱策定後、市民の皆さんに広報等で周知するというお話があったが、市民の方にはしっかり理解していただく必要があるので、PTA、保護者等に対し周知する機会を作っていただきたい。特に先生方には、しっかり理解してもらい、学校現場でこの基本目標を達成するためにどうすべきか考え行動してもらおう必要があると思う。資料を配布するだけでは意味がないと思う。

増田市長 広く周知することは大切なことだと思う。学校現場や保護者の方、市民の皆さんに広く周知し、より一体性をもってオリジナルの教育を推奨していきたい。学校現場等への周知については、今後教育委員会と協議し、より効果的にやっていきたいと思う。校長への市長としての思いや、それを受けての教育長の思いを学校現場へ周知していくことはとりわけ大切なことであると思う。

今、若い人との車座を進めてきている。今月は3回実施する。子育て環境や教育を充実していくことや三次の強みを若い人たちにもっと周知し、三次に住んでいてよかったということを実感してもらいたい。発信していくことが共有につながると思う。

土井委員 1ページの3段落目の「外国語教育の充実」や「ICT（情報通信技術）を活用してより質の高い教育を提供します。」という文には、行政としてしっかりと支援していくという思いが汲み取れてとても良い表現だと思う。

7ページの基本目標Ⅲの1に「国籍、性別、価値観、世代の違いや障害など、一人ひとりの個性を認め…」とあるが、国籍は選ぶことができるので個性だと思うが、性別は選べるものではないので、個性とは言えないのではないか。国籍、

性別，価値観，世代の違いを個性としてひとくくりにするのは難しいのではないかと思う。

松村教育長 特別支援の観点等で，障害もその人の個性なんだという捉え方がよくある。国籍や性別を含めての個性という言い方が「国籍は個性なんだ」「性別は個性なんだ」…と一つずつ押さえてみたとき違和感があるのだと思う。「個性」ではなく「違い」という言い方をしてはどうかと思う。

増田市長 他に意見はないか。

小根森委員 この大綱（案）には市長の教育を大切にされていることや意気込みが表れていて大変良いと思うが，1点気になる点がある。1ページの3段落目に，「そのためにも，子どもたちが生まれ育った環境などに左右されることなく，確かな基礎学力を身に付けさせるための…」とあり，これはとても大切なことだと思うが，「特に」に続けてすぐ英語教育の内容が来ている。困難な子どもたちへの行政支援を行っていくという市長の思いが表れている所なので，その次に来る英語教育の内容とは区別した方がより伝わるのではないか。

土井委員 接続詞の問題かもしれない。「特に」に代えて「また」や「さらに」としてはどうか。

増田市長 総合教育会議での協議は本日が最終となるので，柔軟に修正等加えていければと思う。整理のため，しばし休憩とする。

〈 休憩 〉

増田市長 それでは，本日各委員からいただいたご意見について，整理をしていきたいと思う。事務局より説明をお願いします。

秘書広報課長 皆様からのいただいたご意見5点については，修正を行いたいと思う。

1ページについては，また，3段落目の行政支援の後の文を「特に」を「また，」に修正する。4段落目の「オール三次」のところは「産業界・経済界」という文言を加えて表現の調

整を行う。その続きにある「三次教育を推進する」は「…を創造する」に修正する。

続いて、4ページの基本目標Ⅰ-1については、小中一貫教育の横の連携についての文章を補完する。表現については、事務局にらせていただきたい。

7ページのⅢ-1の「個性」という言葉は「違い」に修正し、前の文章もそれに合わせて若干の修正を加える。

増田市長 今事務局より説明のあった5点の修正について、ご異議はないか。

委員一同 異議なし

増田市長 藤原委員よりいただいたP T A、保護者等への周知についても、思いが伝わるような手法を取っていきたいと思う。先ほど説明させていただいたとおり、修正の趣旨に基づき、事務局の方で表現を調整し、まとめをさせていただきたいが、ご了承いただけるか。

委員一同 了承

増田市長 今後は、出来上がった大綱の内容をいかに着実に実行していくかということになる。具体的な部分についての説明を行っていくので、また皆さんからもご意見をいただきたい。その他事務連絡等はあるか。

構成員一同 なし

事務局 なし

増田市長 この度、多くの皆様のご協力をいただきながら三次市教育大綱をまとめさせていただいた。これからも教育委員会と連携し、行政として、そして市長として真剣に取り組んでいきたいと思う。